

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星つむぎの村
支援対象者・エリア	支援対象者：東日本大震災で被災された方とその家族、支援エリア：全国
企画開催地	宮城県名取市・石巻市と東京や全国をオンラインで結ぶ形
企画名称	2021 星を届け隊
実施期間	2022 年 1 月 15 日(土)～2022 年 1 月 16 日(日)

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

私達は東日本大震災の年からボランティア活動を始め、プラネタリウムと観望会を通して被災地の皆さんに少しでも上向きな心になってもらいたいと願うグループです。

2017 年 4 月に宮城県名取市閑上中学校遺族会代表の方が、「あの日の空は星が沢山見えてきれいだった。見た人も見なかった人にもあの日の星空を見てもらいたい。」と私達に望んだのが、名取市の公民館を訪れるきっかけになりました。これまでに 7 m ドームの中に様々な遺族会の方にも入って頂き、あの日の空を見ながらご遺族が大切な人を思い出され、心の奥底にしまっていた想いを話して下さり、少しずつ心の整理をして頂く時間を作りました。

今年度は、昨年を踏まえて年度当初から、現地を訪ねる場合と、オンラインの場合の 2 案を作成して準備を進めました。レンタカーや宿泊の手配、新しい星空工作の考案と作成を進めました。星空工作には、現地には行かれないメンバーが知恵を出して協力してくれ、グループ内で活動の輪が広がりました。

秋に閑上の事務局が自主的に地元の方に対してチラシを作成され、配布して下さったのですが、12 月下旬に再びコロナウイルス感染が拡大したため、地元と協議の上、オンライン講演会を行う方向に決定。なるべく多くの方に参加してもらいたい為、宮城県在住の知人や、東北出身の関東在住者にもお声掛けしました。パルシステム東京の職員の方も参加され、沢山の方々から感想を頂きました。

閑上の記憶代表の丹野さんと大川伝承の会の佐藤先生の御話は、とても心を打つ素晴らしい内容で、「あの日の前には幸せな日常があったこと、災害は突然やってきて備えが必要なこと、大切な家族を失った悲しみは大きく、繰り返さない為に私達が自分事として防災意識を高める重要性」を伝えてくれました。また、実際に東北に行くのは難しいが、オンラインだったからこそ参加出来、貴重な話を聴くことが出来たと話す参加者がいらしたのは、オンラインならではの成果かもしれません。

講演会終了後、参加者から沢山の感想を寄せてもらい、フィードバックする形で村のサイトにアップし、さらに東北に関心を寄せる方を増やしています。私達が東日本大震災を忘れない、地元の方の心に寄り添う、自分が見聞きしたことを周りの人にこれからも伝えて防災を広めていくという 3 つの活動を、これから先もずっと続けていくことが大事だと改めて感じております。

活動の様子（写真など）

1月15日丹野さんオンライン講演会



みんなで鳩モビールを作成



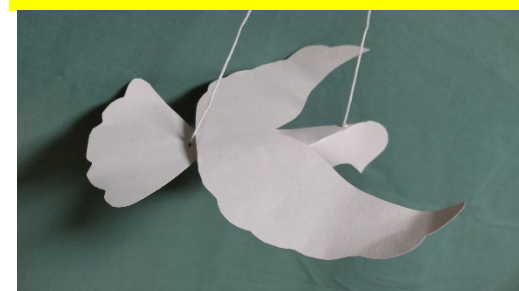
1月16日大川伝承の会佐藤先生の講演会



講演会後のディスカッションの時間



今年の星空工作：鳩モビール



クロスケーモビール1種類もセットにしてプレゼント



※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。